

令和6年度第1回循環器病対策推進に関する小委員会 (心疾患関連)

- 日 時 令和6年8月6日(火) 午後4時～午後5時
- 開催方法 オンライン開催
- 出席者 20人
 山本委員長
 吉川・加藤克・加藤達・吉田・宮崎・畑野各委員
 県健康政策課：角田課長、田中課長補佐、井上係長
 健康対策協議会：清水会長
 健康対策協議会事務局：岡本事務局長、岩垣次長、田中係長、廣瀬主事
 オブザーバー：鳥取保健所健康づくり推進課 岡崎主任
 岩美町健康福祉課 横山保健師
 倉吉保健所健康支援総務課 阿部係長
 米子保健所健康支援総務課 河津課長補佐
 米子保健所健康支援総務課 中本保健師

挨拶（要旨）

〈清水会長〉

令和6年6月15日に行われた定例代議員会において、第16代鳥取県医師会長に選任され、同時に本協議会会長に就任した。よろしくお願いします。

鳥取県では循環器病対策として、昨年度に引き続き今年度も循環器病対策が進められており、鳥取大学医学部附属病院においては、国のモデル事業が行われている。

本日は、循環器病対策推進計画（第2次）の概要や循環器の一般向け講演会等についての議題がある。限られた時間ではあるが、幅広い意見を願います。

協議事項

1. 鳥取県循環器病対策推進計画（第二次）の概要について：井上係長より説明

鳥取県循環器病対策推進計画（第二次）は、「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」第11条に規定される都道府県循環器病対策推進計画であり、令和6年から令和11年までの6カ年計画である。

新計画の特徴として、急性期の医療について、患者の画像情報を遠隔で速やかに送受信できるシステムの導入を検討。小児循環器診療、成人先天性心疾患診療についての追記、循環器医療の現場で活躍する医師以外のメディカルスタッフについて、育成すべき人材として掲載、ICTを活用したリハビリテーション等がある。

2. 令和6年度県予算事業について：井上係長より説明

脳卒中・心疾患に係る対策は令和5年度に引き続き、県と健対協とで共同実施で予算計上を検討している。小委員会委員の開催（300千円）、一般向けの講演会開催（340千円）、多職種連携を目的とした従事者研修会（340千円）。

脳卒中・心臓病等総合支援センターの運営支援（8,123千円）。国のモデル事業の補助金交付が決定し鳥取大学医学部附属病院に令和5年10月より脳卒中・心臓病等総合支援センターによる相談支援体制の組織を立ち上げている。また、心疾患に関する遠隔リハビリテーション事業の継続実施を予定している。若年者の心臓検診による健康管理の充実や循環器予防対策に係る啓発資料等の作成費については継続事業として令和5年度と同額が充てられている。

山本委員長より、心疾患に関する遠隔リハビリテーション事業について補足説明があった。現在、鳥取大学医学部附属病院と日南病院との間で遠隔リハビリテーションを行っている。PTも関わる方が増え、遠隔リハビリテーションにも慣れてきた。今後は鳥取県立厚生病院とも遠隔リハビリテーションを行えるように用意しているところである。現状は個別リハビリテーションであるが、将来的には集団リハビリテーションを行うことも検討している。

3. 令和6年度県民向け講演会及び多職種連携従事者研修会について

現時点では、以下のとおり決定した。

○一般県民向け講演会

開催日時：11月24日（日）13：00～16：00

開催方法：当日会場、または後日配信動画の視聴
会場：新日本海新聞社中部本社ホール
（2階会議室）

講演内容：心疾患の概要と発症予防等

講師：①：山陰労災病院循環器内科部長

水田栄之助先生

②：栄養士

令和5年度開催時の患者体験談が好評であったため、今年度も患者体験談を盛り込むこととなった。また、患者代表である畑野委員に今年度もお引き受けいただくこととなった。

○多職種連携従事者研修会

開催日時：12月7日（土）13：00～16：00

開催方法：オンライン開催

（メイン会場：鳥取県医師会館）

（中部サブ会場は設置検討）

講演内容：令和6年度診療報酬改定等

講師：山本委員長に相談

メインの配信会場としての鳥取県医師会館の他に、中部にも講師、聴講者が現地参加できる会場の設置を検討することとなった。

※両会とも心疾患分野と合同開催とすることとなった。

※会議後、座長（宮崎委員）及び山本委員長と協議し、講師等について検討した。